

平成 29 年度入学者用学生便覧の訂正について

2018.0514

1. P68 開講学期の変更
専門基礎科目「高分子科学」の開講学期
〔誤〕7 学期
〔正〕5 学期

2. P69 科目名の訂正
〔誤〕圧縮性流体力学
〔正〕圧縮性流体工学

3. P71 注意書きの追加
物理学Ⅰ，数学Ⅰ，数学Ⅱ，基礎材料力学及び演習，運動と力学及び演習，基礎熱力学及び演習，基礎流体力学及び演習，基礎振動工学及び演習，機械システム設計及び製図Ⅰ，機械システム設計及び製図Ⅱ，機械システム設計及び製図Ⅲ，機械システム基礎及び実験を再履修する学生は，再履修クラスを受講することもできる。再履修クラスで修得した単位についても，卒研着手条件や卒業要件の単位として扱われる。受講を希望する場合は，アドバイザーに相談すること。

4. P56 学習・教育到達目標(E) 1 行目
〔誤〕「…関心を見極めるとによって…」
〔正〕「…関心を見極めることによって…」

5. P56 学習・教育到達目標(G) 3 行目左端
〔誤〕「…通じて…」
〔正〕「…通して…」

6. P58 学習・教育到達目標を達成するための科目及び達成基準一覧 目標(B)の一番下
P60 学習・教育到達目標を達成するための科目及び達成基準一覧 目標(F)の下から 4 科目目
〔誤〕機械システム特別講義
〔正〕機械システム工学特別講義

7. P59 学習・教育到達目標を達成するための科目及び達成基準一覧

| | | | | | | |
|---------------|---|-----------|----------------------------|----|--------|---|
| (D) 技術者倫理観 | 4 | 2 | 機械工作実習 (○) | 2 | 23単位以上 | |
| | 5 | 7 | エンジニアリング創成 I (○) | 3 | | |
| | 5 | 2 | エンジニアリング創成 II (○) | 3 | | |
| | 3 | 7 | 機械システム基礎及び実験 (○) | 3 | | |
| | 5 | 1,2,4,7,8 | 基盤共通教育科目(教養科目) 機械技術者倫理 (○) | 2 | | |
| | 5 | 2 | 学外実習 I (インターンシップ) | 1 | | 左記のいずれかに参加して、レポートを提出。 |
| | 5 | 2 | 学外実習 II (インターンシップ) | 1 | | |
| | 5 | 2 | 工場見学 | | | |
| | 6 | 5 | 特別講義 | | | |
| | 5 | 2 | 卒業研究 (○) | 10 | | 研究発表 (20%), 研究内容 (80%) の割合で所定の項目評価に従って評価し、平均点60点以上を合格とする。 |

8. P60 学習・教育到達目標を達成するための科目及び達成基準一覧 目標(F) 基盤共通教育科目(共通科目)

| | | | | |
|---|---|--------------------------------------|---|---|
| 5 | 9 | 基盤共通教育科目(導入科目) (○) | 2 | 「微分積分学Ⅰ」と「微分積分学Ⅱ」を含む 左記を取得することを推奨する。 |
| 5 | 9 | 基盤共通教育科目(基幹科目) (○) | 4 | |
| 5 | 9 | 基盤共通教育科目(教養科目) 機械技術倫理を除く | | |
| 5 | 9 | 基盤共通教育科目(共通科目) コミュニケーションスキル 1 (○), 2 | 6 | |
| 1 | 9 | 基盤共通教育科目(共通科目) サイエンス・スキル | 4 | |
| 5 | 9 | 基盤共通教育科目(共通科目) 健康スポーツ, 情報科学 | | |
| 5 | 9 | 基盤共通教育科目(共通科目) キャリアデザイン | | |
| 5 | 9 | 基盤共通教育科目(導入科目) 学部導入セミナー (推奨) | | |
| 1 | 9 | 微積分解法 (○) | 2 | |

9. P61 学習・教育到達目標を達成するための科目及び達成基準一覧

目標(H) 総合評価方法及び評価基準

[誤]24 単位以上

[正]24 単位

10. P61 学習・教育到達目標を達成するための科目及び達成基準一覧

目標(I) 総合評価方法及び評価基準

[誤]16 単位以上

[正]16 単位

11. P65 上から3行目 ② 卒研着手条件

[誤] 4年次に行われる卒業研究に集中して望むために…

[正] 4年次に行われる卒業研究に集中して臨むために…

以上